



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	3,314	—	125	—	122	—	60	—
2018年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 60百万円(—%) 2018年9月期第1四半期 -100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	11.97	11.64
2018年9月期第1四半期	—	—

(注) 2018年9月期第1四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	6,843	2,920	42.5
2018年9月期	6,742	2,856	42.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,906百万円 2018年9月期 2,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,500	10.3	485	20.1	440	27.5	218	27.2
								43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	5,036,400株	2018年9月期	5,028,200株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	一株	2018年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	5,032,915株	2018年9月期1Q	一株

(注) 当社は、2018年9月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2018年9月期第1四半期の期中平均株式数については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続しました。消費は、雇用環境の改善や株高による資産効果などを背景に持ち直し、設備投資においては、生産の回復や企業収益の改善に加え、人手不足に対応するためのIT投資などの拡大を背景に底堅い動きが続いています。

海外経済は、総じて拡大傾向が続いています。米国・欧州ともに、良好な雇用環境や消費者マインドの改善を背景に消費が底堅く推移し、新興国では、中国経済が引き続き堅調なほか、他の新興国も緩やかな回復が続いています。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は平成30年1月～平成30年12月累計で前年同期間比97.7%と減少するものの、分譲戸建については前年同期間比で103.0%と増加しており堅調に推移しました。商業施設などの建設業界におきましては、東日本大震災復興関連事業や国土強靱化取組による各種インフラの耐震補強事業、東京オリンピック・パラリンピックに伴うインフラ整備など依然として堅調に推移しています。

このような状況のもとで、当社グループは、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という当社グループ理念に基づき、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上に向け活動を強化しております。また、当社グループビジョン「全ての建物にキャンディル」の実現に向けて、平成28年に閣議決定された「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充と「お客様のニーズにあった新商品開発に取り組み、住宅関連サービス及び商業施設関連サービスの拡充等、売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,314,594千円、営業利益は125,334千円、経常利益は122,225千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は60,236千円となりました。なお、当社では組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に48,055千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は170,280千円、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は108,292千円となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

① リペアサービス

当第1四半期連結累計期間におけるリペアサービスの売上高は1,276,555千円であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しておりますが、同社のリペアサービスは堅調に推移した結果、売上高は956,077千円となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しておりますが、集合住宅の新築着工戸数の減少の影響で、同社のリペアサービスの売上高は320,477千円となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの売上高は853,793千円であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は594,433千円となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービス、リコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は217,419千円となりました。株式会社キャンディルデザインは北海道内集合住宅居室の設計変更を中心とした施工サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は41,940千円となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの売上高は993,630千円となりました。

株式会社キャンディルテクトは主に商業施設の内装施工サービス、組立サービス、揚重サービスを提供しています。

④ 商材販売

当第1四半期連結累計期間における商材販売の売上高は190,615千円であります。

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供と北海道を中心に高級カーテンなどのインテリア商材の販売サービスの提供を行っております。

なお、当社は前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,843,278千円となり、前連結会計年度末に比べ101,095千円の増加となりました。

流動資産は3,425,164千円となり、前連結会計年度末に比べ171,661千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が104,888千円増加したこと、受取手形及び売掛金が70,070千円増加したことなどによります。

固定資産は3,418,113千円となり、前連結会計年度末に比べ70,565千円の減少となりました。これは、主にのれんが48,055千円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,922,369千円となり、前連結会計年度末に比べ36,220千円の増加となりました。

流動負債は2,321,741千円となり、前連結会計年度末に比べ36,408千円の増加となりました。これは、主に未払費用が38,366千円増加したことなどによります。

固定負債は1,600,627千円となり、前連結会計年度末に比べ187千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,920,909千円となり、前連結会計年度末に比べ64,874千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が60,236千円増加したことなどによります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は42.5%（前連結会計年度末比0.4ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2018年11月14日の「2018年9月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,212	1,372,100
受取手形及び売掛金	1,713,489	1,783,560
商品及び製品	107,098	83,763
原材料及び貯蔵品	44,509	37,413
その他	125,691	153,481
貸倒引当金	△4,497	△5,153
流動資産合計	3,253,503	3,425,164
固定資産		
有形固定資産	196,534	194,074
無形固定資産		
のれん	3,075,579	3,027,523
その他	32,697	36,915
無形固定資産合計	3,108,277	3,064,439
投資その他の資産		
繰延税金資産	102,524	79,097
その他	84,754	85,158
貸倒引当金	△3,411	△4,655
投資その他の資産合計	183,867	159,600
固定資産合計	3,488,679	3,418,113
資産合計	6,742,183	6,843,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,496	266,602
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	26,581	30,355
賞与引当金	155,626	112,198
未払費用	585,395	623,762
その他	414,233	488,822
流動負債合計	2,285,333	2,321,741
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,600,000
その他	814	627
固定負債合計	1,600,814	1,600,627
負債合計	3,886,148	3,922,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,852	459,281
資本剰余金	2,176,952	2,179,381
利益剰余金	207,074	267,310
株主資本合計	2,840,879	2,905,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	726
その他の包括利益累計額合計	680	726
新株予約権	14,474	14,209
純資産合計	2,856,034	2,920,909
負債純資産合計	6,742,183	6,843,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	3,314,594
売上原価	2,139,024
売上総利益	1,175,570
販売費及び一般管理費	1,050,235
営業利益	125,334
営業外収益	
受取利息	15
受取配当金	53
受取保険金	1,752
その他	375
営業外収益合計	2,195
営業外費用	
支払利息	4,642
その他	663
営業外費用合計	5,305
経常利益	122,225
税金等調整前四半期純利益	122,225
法人税、住民税及び事業税	38,585
法人税等調整額	23,403
法人税等合計	61,988
四半期純利益	60,236
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,236

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	60,236
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	46
その他の包括利益合計	46
四半期包括利益	60,282
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	60,282
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。